

2026年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

株式会社 チノー
(東証プライム : 6850)

1.2026年3月期 第2四半期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結受注高・売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 地域別売上高

2.株主還元

3.トピックス

4.通期業績予想

1.2026年3月期 第2四半期決算

1) 決算ハイライト

2026年3月期 第2四半期 連結業績

受注高



14,378百万円

前年同期比 11.2 %増



売上高



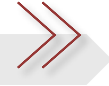
14,187百万円

前年同期比 7.8 %増



- 受注高は、脱炭素関連の需要が継続するとともに、センサセグメントの需要が増加
- 売上高は、当社顧客の設備投資が堅調に推移し増収

営業利益



917百万円

前年同期比 14.0%減



経常利益



960百万円

前年同期比 16.0%減



中間純利益 (親会社株主に帰属)



468百万円

前年同期比 26.1%減



- 利益は、センサセグメントが大幅に増益となった一方で、個別案件の利益率下振れによる計装システムセグメントの減益により全体として減益

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	対前期増減額	対前期増減率
受注高	12,926	14,378	1,451	11.2%
	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	対前期増減額	対前期増減率
売上高	13,166	14,187	1,020	7.8%
売上総利益 <利益率>	4,204 <31.9%>	4,081 <28.8%>	▲ 123 <▲3.1p>	▲2.9%
営業利益 <利益率>	1,066 <8.1%>	917 <6.5%>	▲ 149 <▲1.6p>	▲14.0%
経常利益 <利益率>	1,143 <8.7%>	960 <6.8%>	▲ 183 <▲1.9p>	▲16.0%
中間純利益 (親会社株主に帰属) <利益率>	633 <4.8%>	468 <3.3%>	▲ 165 <▲1.5p>	▲26.1%

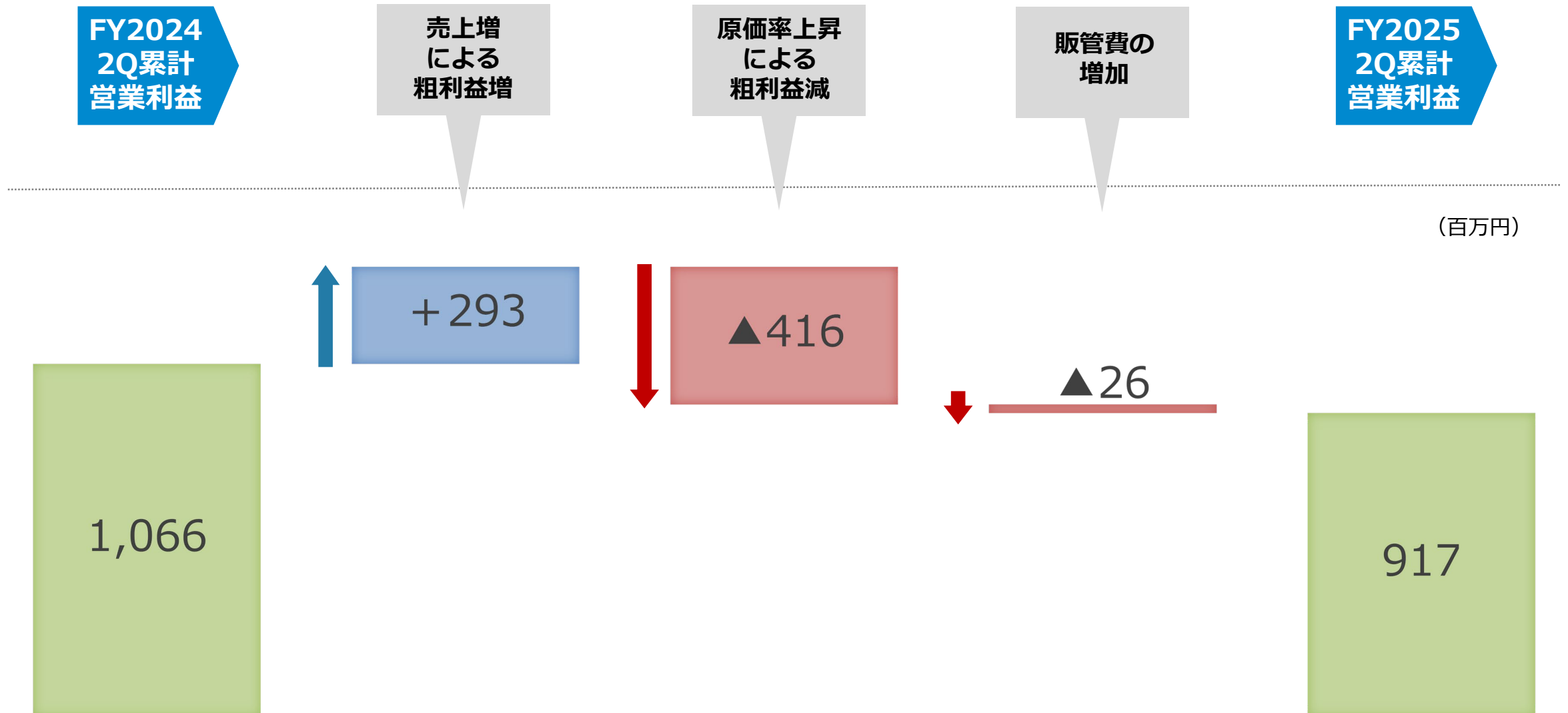
2) 業績サマリー (2)

◇セグメント別業績

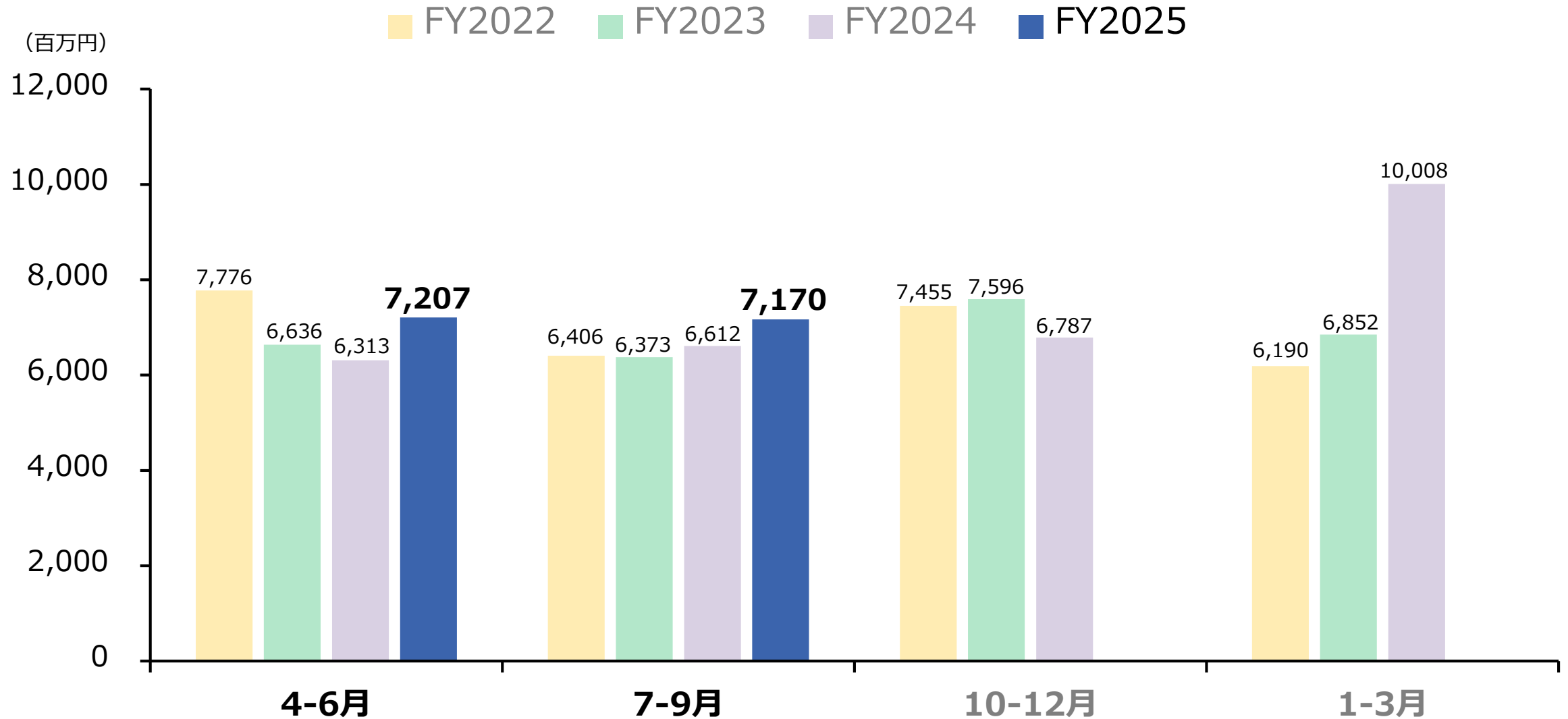
(百万円)

	受注高				売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	増減額	増減率 (%)	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	増減額	増減率 (%)	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	4,390	4,566	176	4.0	4,884	4,620	▲ 264	▲ 5.4	714	699	▲ 15	▲ 2.1
計装システム	4,391	4,566	174	4.0	3,980	4,532	551	13.9	574	213	▲ 361	▲ 62.9
センサ	3,712	4,739	1,027	27.7	3,803	4,502	698	18.4	658	937	279	42.5
その他	431	505	73	17.1	497	531	34	6.9	100	136	36	36.2
全社費用									▲ 980	▲ 1,069	▲ 88	—
合計	12,926	14,378	1,451	11.2	13,166	14,187	1,020	7.8	1,066	917	▲ 149	▲ 14.0

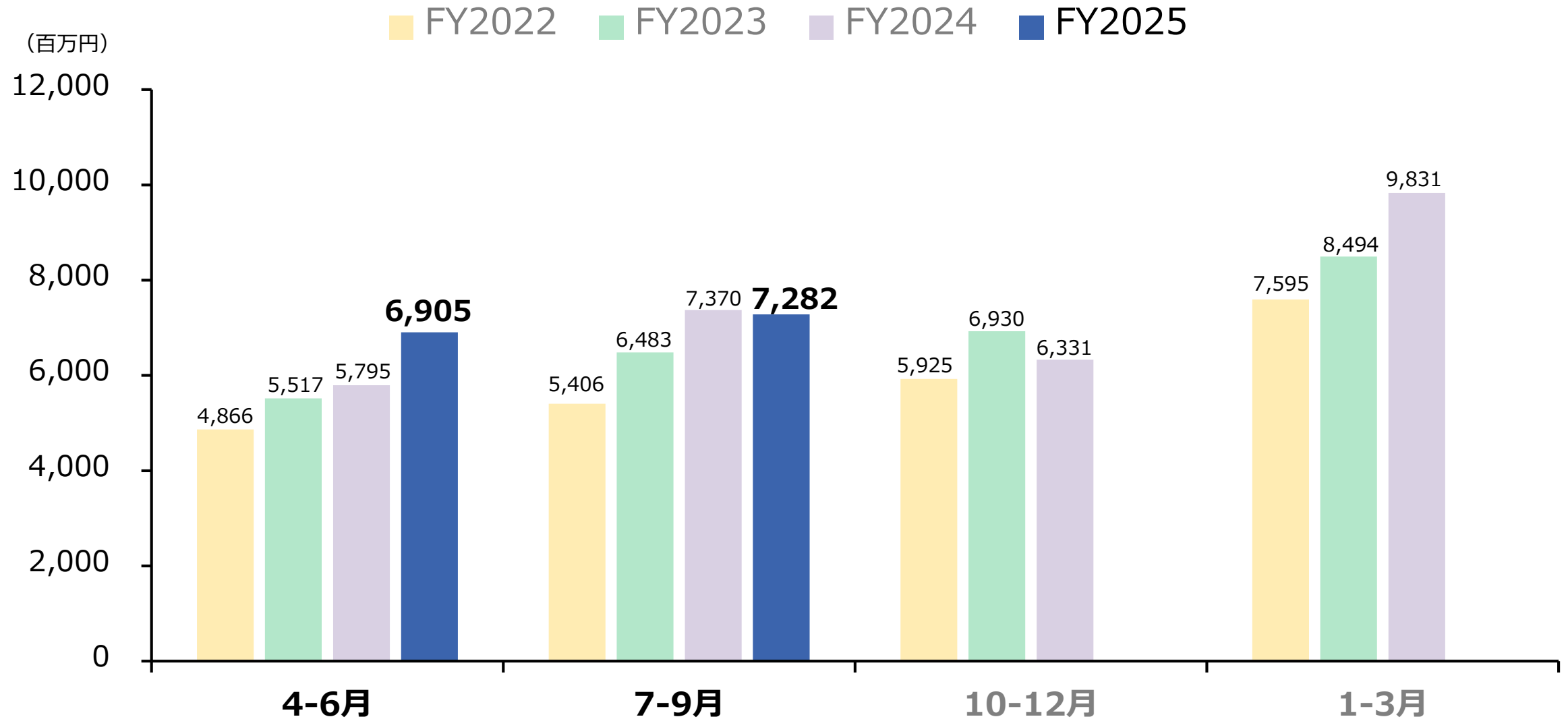
3) 営業利益増減分析



4) 受注高の推移



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向

① 計測制御機器

損益状況

売上高



4,620百万円

前年同期比

5.4%減



セグメント利益



699百万円

前年同期比

2.1%減

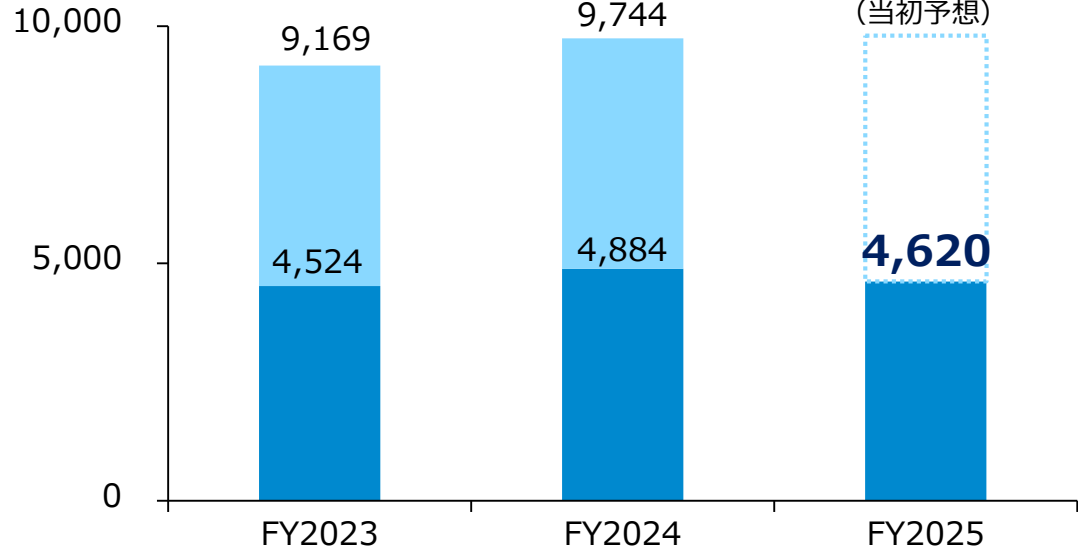


製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に全体の需要は堅調だったものの、中国における一時的な需要減少の影響により、前年同期比で減収
- 利益は、売上高減少により減益

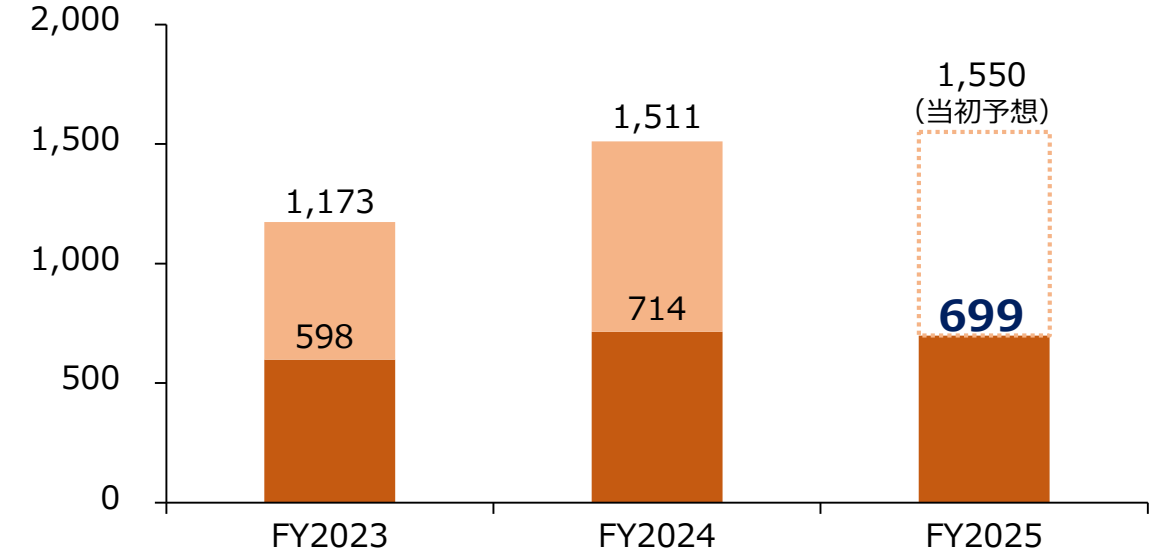
<売上高>

(百万円)



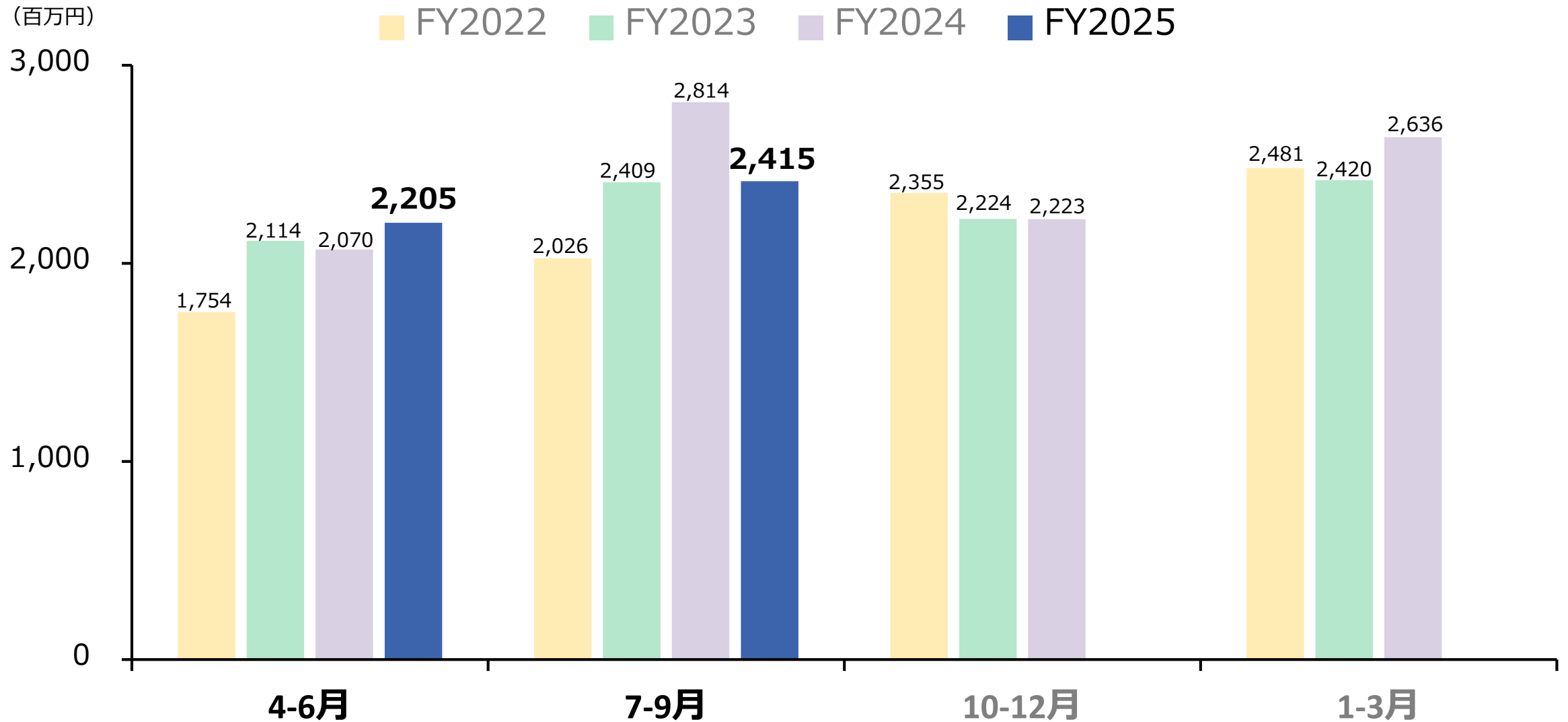
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移

① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向

② 計装システム

損益状況

売上高



4,532百万円

前年同期比 13.9%増



セグメント利益



213百万円

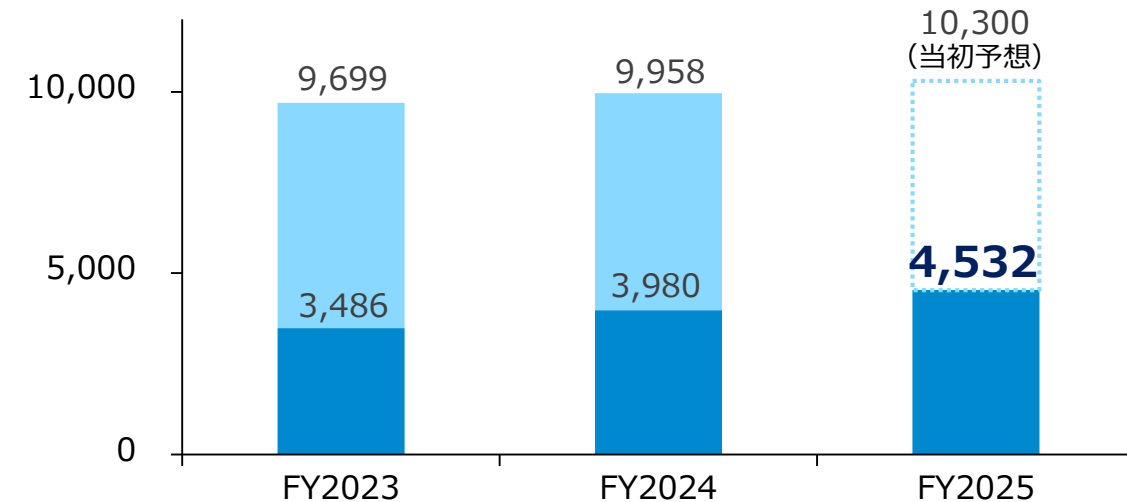
前年同期比 62.9%減



製品別状況

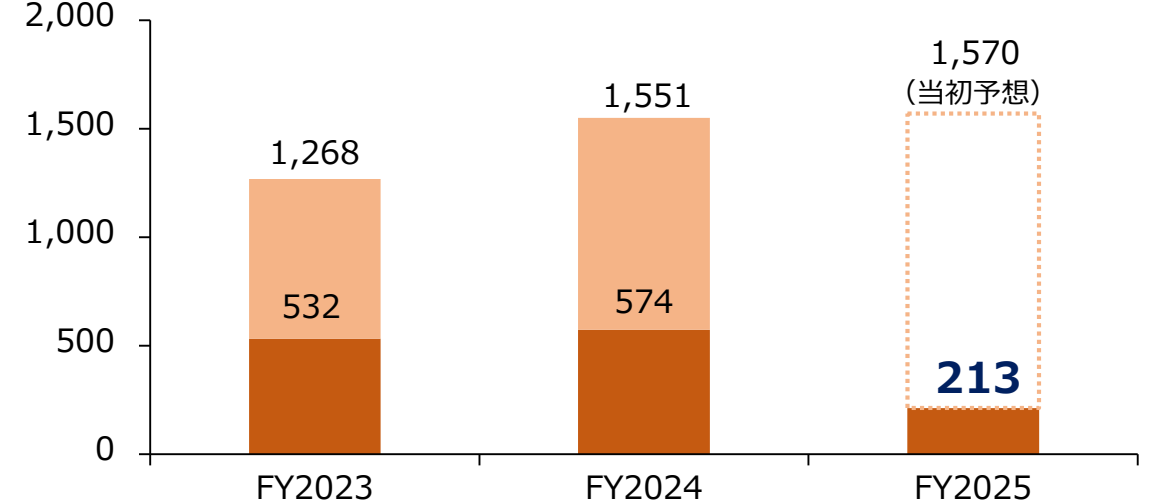
- 脱炭素関連で、自動車向けの燃料電池評価試験装置や、水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が継続
- 空調用コンプレッサ評価試験装置は、自然冷媒対応機器の需要が増加
- 利益は、個別案件の利益率下振れ等により減益

<売上高>
(百万円)



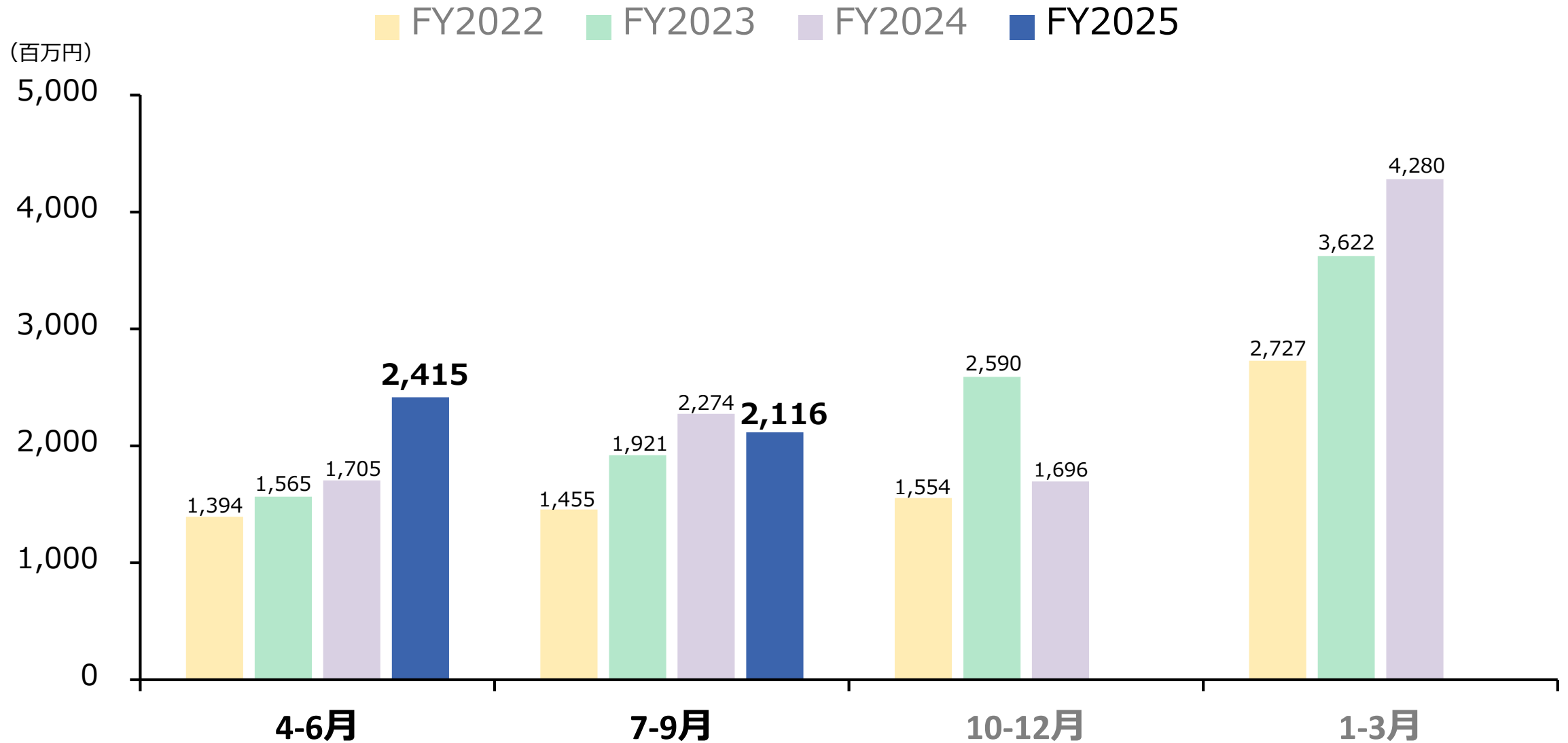
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移

② 計装システム



5) セグメント別の業績動向

③ センサ

損益状況

売上高



4,502百万円

前年同期比

18.4%増



セグメント利益



937百万円

前年同期比

42.5%増



製品別状況

- 半導体・電子部品の製造装置や熱処理加工向けを中心に需要が好調
- グループ会社・明陽電機(株) (船舶向け温度センサを製造販売) の増収が寄与
- 利益は、増収効果等により増益

<売上高>

(百万円)

10,000

5,000

0

FY2023

FY2024

FY2025

■ 2Q累計 ■ 通期

7,549

3,537

8,597

3,803

8,850
(当初予想)

4,502

<セグメント利益>

(百万円)

2,000

1,500

1,000

500

0

FY2023

FY2024

FY2025

■ 2Q累計 ■ 通期

1,398

622

1,706

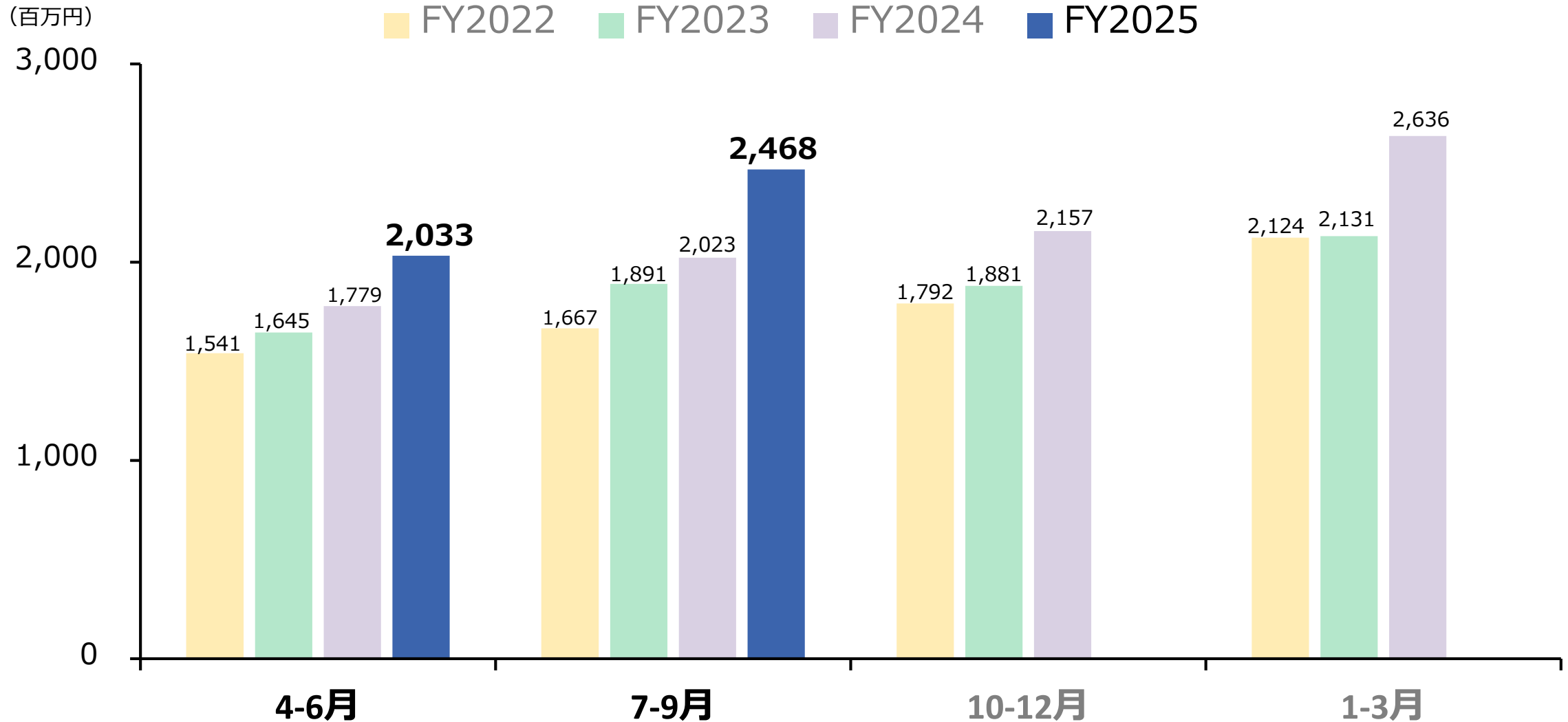
658

1,775
(当初予想)

937

5) 売上高推移

③ センサ



6) 連結貸借対照表

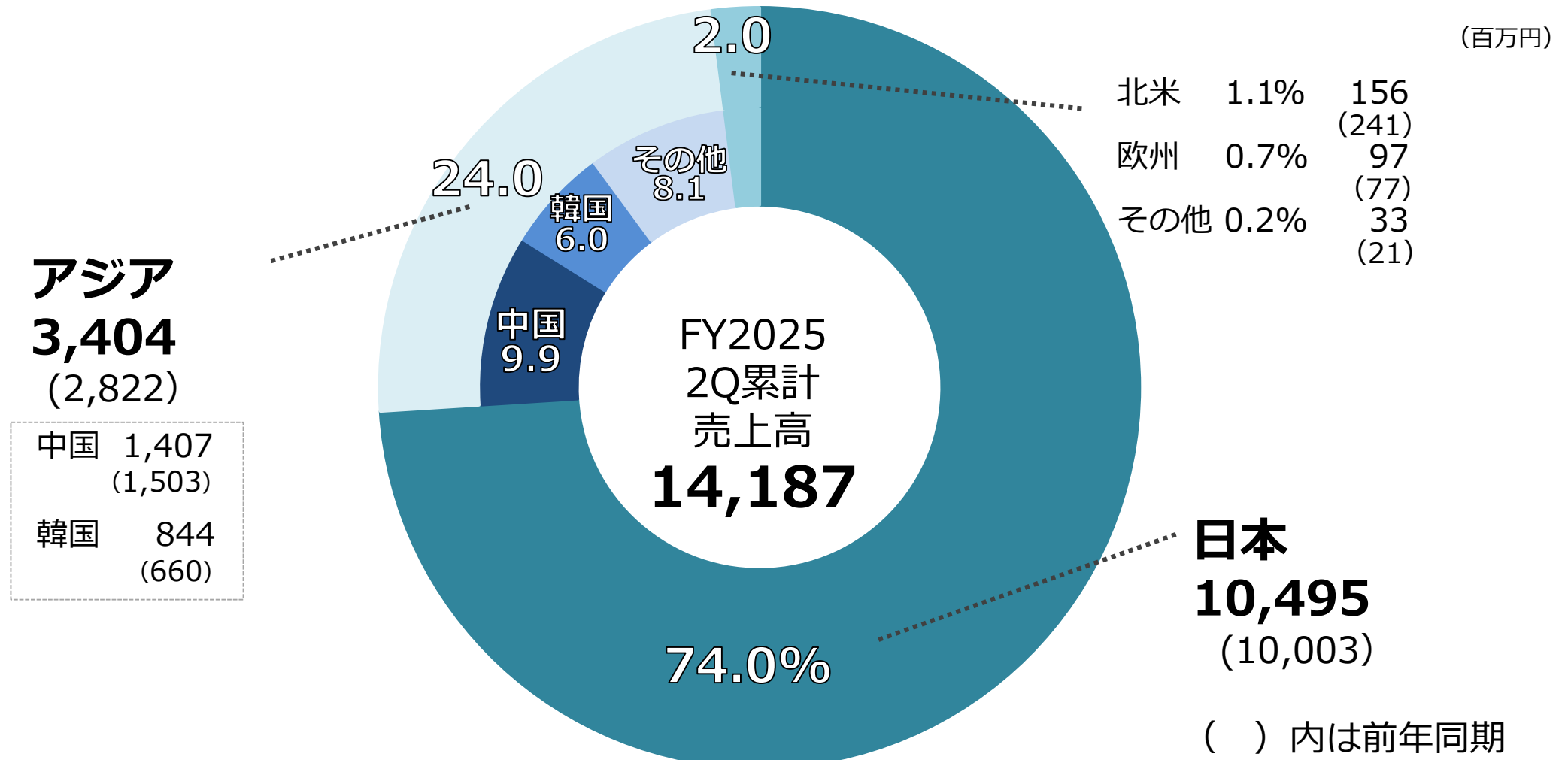
- 資産 売上債権の減少等により、前期末比▲1,515百万円
- 負債 賞与引当金・未払法人税の減少等により流動負債は▲1,271百万円、長期借入金の減少等により固定負債は▲314百万円となり、負債合計では前期末比▲1,585百万円
- 純資産 前期末比+70百万円

				(百万円)			
科目	2025年3月末	2025年9月末	増減額	科目	2025年3月末	2025年9月末	増減額
流動資産	27,268	25,072	▲ 2,196	流動負債	9,390	8,119	▲ 1,271
現預金	8,127	7,535	▲ 591	仕入債務	4,026	4,227	200
売上債権	8,834	7,387	▲ 1,446	短期借入金	1,638	1,613	▲ 25
棚卸資産	10,069	9,845	▲ 223	その他	3,725	2,278	▲ 1,447
その他	238	303	64	固定負債	3,341	3,026	▲ 314
固定資産	10,496	11,178	681	長期借入金	969	733	▲ 236
有形固定資産	6,169	6,584	414	その他	2,371	2,293	▲ 77
無形固定資産	290	337	46	純資産	25,033	25,104	70
投資その他の資産	4,036	4,256	220	株主資本	21,120	21,150	29
資産合計	37,765	36,250	▲ 1,515	その他の包括利益累計額	857	991	133
				非支配株主持分	3,055	2,962	▲ 92
				負債純資産合計	37,765	36,250	▲ 1,515

※自己資本比率は、2025年3月末 58.2%から2025年9月末 61.1%へと2.9ポイント上昇

7) 地域別売上高

- 国内売上高：前年同期比492百万円の増収
- 海外売上高：同528百万円の増収(アジア+581百万円<タイ+463、インド+184、韓国+183>)



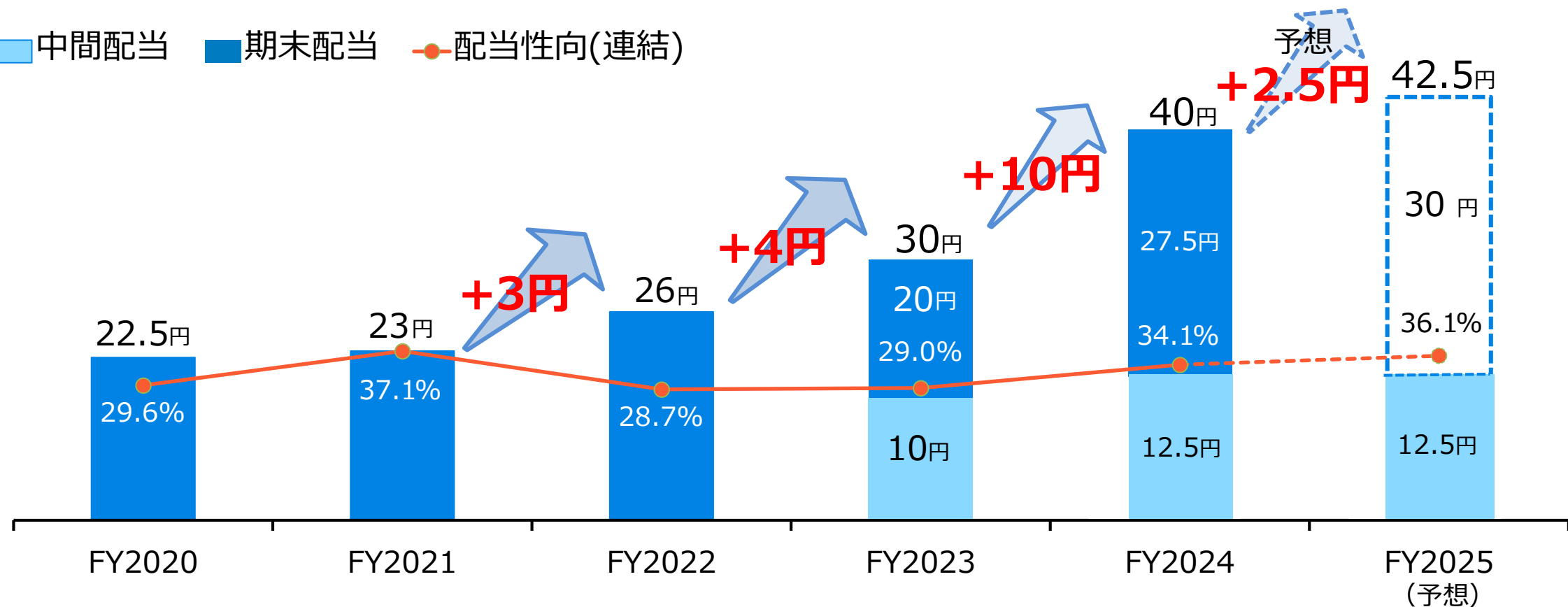
2. 株主還元

配当の推移（※株式分割後ベース）

※2025年10月1日付で1株を2株に分割。下記グラフ（FY2020～FY2025）は、株式分割後ベース。

- FY2025中間配当 : 12.5円
 - FY2025期末配当（予想） : 30円
- 42.5円（予想）
（前期比 2.5円増配）

■ 中間配当 ■ 期末配当 ● 配当性向(連結)



※自己株式取得予定（上限） ①期間：2025年11月～2026年11月 ②株式数：860,000株 ③金額：13億円

3. トピックス

株式分割・株主優待制度の拡充①

1.株式分割（概要）

<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・投資単位引き下げ、投資しやすい環境の整備 ・株式流動性の向上 ・投資家層の拡大
<p>分割の方法</p>	<p>普通株式1株につき2株に分割</p>
<p>分割基準日</p>	<p>2025年9月30日</p>
<p>効力発生日</p>	<p>2025年10月1日</p>

株式分割・株主優待制度の拡充②

2.株式優待制度の拡充（概要）

株式分割に伴い、株主優待制度の対象となる最少保有株式数を引き下げ、従来と比べて利用しやすい進呈条件に変更。

<進呈条件の変更>

3月末現在300株(株式分割後ベース)以上保有の株主様が対象

※**300～599株(株式分割後ベース)保有の株主様を新たな対象として追加**

<適用日>

2026年3月末（基準日）より適用

<変更後の株主優待ポイント表（保有株式数：株式分割後ベース）>

保有株式数（株）	ポイント	保有株式数（株）	ポイント
300～599	2,000	1,400～1,999	25,000
600～799	4,000	2,000～3,999	30,000
800～999	8,000	4,000～9,999	35,000
1,000～1,199	15,000	10,000以上	40,000
1,200～1,399	20,000		

株主還元を強化するとともに、資本効率の向上を図ることを目的として2025年11月12日の取締役会において、自己株式取得について決議。

1.取得期間

2025年11月13日～2026年11月12日

2.取得する株式（上限）

①株数 860,000株

※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.05%

②金額 13億円

「チノーレポート2025」を発行

2025年10月31日に「チノーレポート2025」を発行しました。

本レポートは、ステークホルダーの皆様へ、当社グループの事業活動・中長期的な経営の取組みについて深くご理解いただくことを目的として作成した年次統合報告書です。

本レポートをコミュニケーションツールの一つとして、ステークホルダーの皆様との対話を一層進め、今後とも持続的な企業価値向上に努めてまいります。



トップメッセージ



社外役員座談会

＜チノーレポート掲載＞



4. 通期業績予想

通期業績予想（2025年5月13日発表から変更なし）

エネルギー価格の高止まりや物価の高騰、不安定な為替相場などに加え、米国における関税政策の影響等、不確実性は増しているものの、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素社会に向けた水素関連分野での需要拡大を前提として、FY2025の業績予想は前期比で増収増益と予想。

（百万円）

項目	FY2025 業績予想 (2025年5月13日発表)	FY2024 実績	増減	増減比 (%)
売上高	30,000	29,329	671	2.3
営業利益	2,900	2,879	21	0.7
経常利益	3,050	3,034	16	0.5
当期純利益 (親会社株主に帰属)	2,000	1,991	9	0.4

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO